

# 桑野塾

桑野塾 検索

<http://deracine.fool.jp/kuwanojuku/>

大学などの研究者に限らず、興味を持って研究していることを自由に発表しあう「広場」です。  
どなたでもご参加いただけます。  
それぞれの興味が少しずつ重なり合うことで、新たな知見を見いだそうという場です。

## @web

# 第68回

2022年  
**3月19日(土)**  
15:00 ~ 17:00  
ルームオープン: 14:40

**Zoomにて開催!** 参加無料

★メールでのお申し込みが必要です。

Zoomの参加URL(ルーム番号とパスワード)をお送りします。  
※報告者・タイトルは変更の可能性もあります。ご了承ください。

## メイキング オブ「みわぞう sings 三文オペラ」

報告者: こぐれみわぞう・大岡 淳・大熊 ワタル



「みわぞう sings 三文オペラ」ポスター

### 伝説はいかにして新たな伝説となりしか

1928年ドイツで初演され一世を風靡したプレヒト・ヴァイルの「三文オペラ」。本邦でも、早くも数年後には舞台やレコードで「三文熱」がたかまり、また近年もほぼ10年に一度新訳が出されるなど独自の受容熱が見られた。

ナチの登場時には排除すべき「退廃文化」の筆頭に数えられ、亡命を余儀なくされるなど、時代の荒波と格闘したプレヒトやヴァイルたちだった。

しかし21世紀も20年がたち、同時代の緊張感はいうまでもなく、何よりも近代=野蛮の極致としての第二次大戦の記憶すら遠くなるにつれ、三文オペラも無数の文化的参照項の一つとして、「売り」であったはずの毒気がスルー(解毒)され、ややもすると都合よく消費される傾向がないとはいえない。

このような風潮のなか、敢然と毒気をまき散らしながら登場したのが大岡淳の新訳である。

そして大岡訳に勇を鼓して、プレヒトソングのキャリアに拍車をかけたのが歌手みわぞうだ。

たった1人で男女5役を担って全曲を歌い、大岡自らも演じかつ歌いつつ物語を進め、大熊ワタルら4人の楽団が最小編成ながら大きな反響を呼んだ、前代未聞の三文舞台がいかにして立ち上がったのか。

初演から約100年後、ときあたかもパンデミックの日本で、最小の自主興行ながら、大いなる喧騒の舞台をスタートさせた製作秘話と共に、三文オペラの底知れぬ魅力に出演者自らがご案内します。

#### ●こぐれみわぞう

歌手、チンドン太鼓奏者、箏曲家。  
幼少より箏曲を始め11歳で師範名取。  
明治大学文学部演劇学専修卒業。  
1997年ソウル・フラワー・モノノケ・サミットでチンドン太鼓開始。  
シカラムータ、ジントラムータ等で華麗かつハイブリッドな新世代チンドンの旗手として国内外で活躍。特に海外のクレズマーフェスなどで、チンドン・クレズマーは大反響を呼び、「Jewish Star」とも称された。  
近年はイディッシュ歌謡、プレヒトソングなどの稀有な歌手としても活動中。  
[www.cicala-mvta.com](http://www.cicala-mvta.com)

#### ●大岡 淳(おおおか じゅん)

演出家・劇作家・批評家。1970年兵庫県生まれ。早稲田大学第一文学部哲学科哲学専修卒業。現在、SPAC-静岡県舞台芸術センター文芸部スタッフ、武久出版編集部顧問、静岡大学非常勤講師、静岡文化芸術大学非常勤講師、河合塾COSMO東京校非常勤講師。「日本軽佻派」の継承者を自認する社会派エンターテイナーとして、演劇・人形劇・オペラ・ミュージカル・コンサート・ダンス等を幅広く手がける。演出代表作にジェルジ・リゲティ作曲「アヴァンチュール/ヌーヴェル・アヴァンチュール」(2016)、戯曲代表作に「1940ーリヒャルト・シュトラウスの家」(2017)、編著に「21世紀のマダム・エドワルド」(光文社/2015)、訳著に「ベルトルト・プレヒト『三文オペラ』」(共和国/2018)がある。

#### ●大熊 ワタル(おおくま わたる)

クラリネット奏者、著述家、マルチプレイヤー。  
80年代、東京の地下音楽シーンで活動開始、前衛ロックバンドで電気楽器等を担当。  
その後20代半ばでチンドン屋に入門し街頭でクラリネット修行。  
90年代、クラリネット奏者として自己のグループ・シカラムータを始動。その祝祭的で超ジャンルの音楽性は国内外で話題となる。  
現代的表現と並行して、日本独自の街頭音楽としてのチンドンを軸に、クレズマー(東欧ユダヤ系民衆音楽)など世界の広場的音楽に取り組み続け、チンドンユニット・ジントラムータなどで海外公演多数。  
ヴァイル、プレヒトソングなどもライフワークとして追究。  
コンサートのみならず演劇、映画、サーカスや著作などボーダーレスに活動。  
[www.cicala-mvta.com](http://www.cicala-mvta.com)

●問合せ・申込み: 大島幹雄(おおしま・みきお) E-mail: [izj00257@nifty.com](mailto:izj00257@nifty.com) / 電話: 090-2207-8185